

1月の産地情報

輪菊	白菊	主な産地は愛知、静岡。例年並みの作付け量が見込まれるが、中旬以降数量減少する。年明けは2Lクラスの割合が多めで、後半はMSの割合が多めとなる。
	黄・赤菊	静岡、沖縄産中心となる。例年より出荷量が減少し、高齢化などで作付け量も減少している。光明、光玉中心。
小菊		沖縄産中心。例年よりやや少ない出荷量で、色バランスの崩れも見込まれる。
SPマム		愛知、静岡、沖縄産中心で、例年並みの入荷量が見込まれる。輸入品も例年並みの見込み。
バラ		国産は低温と燃油高による生産コスト上昇により、少ない入荷の見込み。輸入品は例年並みの見込み。
カーネーション		ST品種は千葉、SP品種静岡中心の入荷となり、大きな山は無くダラダラとした出荷が続く見込み。1月中旬から下旬頃より2Lクラスが主体となっていく。
かすみ草		各地前進の為、例年より少ない入荷の見込み。
リシアンサス		輸送の問題や、燃料費等大幅な値上がりの為、輸入、国産ともに不安定な入荷。
ユリ	オリエンタル	埼玉、高知、千葉中心の入荷で、数量は例年並みでやや少な目。カサブランカが品薄で、色バランスは白6:P4だが、色目による引き合いは不安定。
	スカシ・鉄砲	テッポウユリは埼玉中心に例年並みの入荷で少な目。スカシLAユリも埼玉中心の入荷で数量は例年並みとなる。
洋ラン類		オンシは輸入、国産含めて入荷は少な目。カトレア、シンピ、エビデンは潤沢な入荷が見込まれる。デンファレは国産少なめ、輸入は潤沢な入荷が見込まれる。モカラ、レナンセラ、バンダは輸入中心で入荷はあまり多くない。
季節もの		ストックはやや前進していたが、急激に冷え込み入荷量も微減傾向。啓翁桜などの花の生育は良好。潤沢な入荷の見込み。コデマリ、雪柳の数量は多くないが、徐々に増える傾向。